



SANKEI
BLDG.
TECHNO

SBT通信

vol.16
2020 新春号



ルフォン リブレ赤羽 モデルルーム URL: www.lefond.jp

topic

サンケイビルテクノのオフィスに新しいスペースができました

働き方が多様化する中で、オフィスの役割や使われ方も変化していきます。2019年10月、サンケイビルテクノでは社内環境整備の一環として、社員のための多目的スペース「MARULABO」を設置しました。

空間は、窓側に位置する2Fの好立地の場所を生かし、「外に対して雰囲気発信できる」「カフェのようにリラックスできる」「コミュニケーションがとれやすい」を意識したスペースデザインとしています。ランチタイムはもちろんビジネスタイムはミーティング、フリーデスクとして利用。就業後は、社内イベントやセミナーなどを開催。柔軟な発想で、クリエイティブな空間デザインを発信する基地としてこれからもどんどん進化していきます。



多目的スペース「MARULABO」

住み始めたときは快適な収納だったけれど、家族構成の変化や住まい方が変わると、収納の仕方や収納スペースなど使い勝手が不便だと感じることはありませんか？収納の使い勝手を考えることは生活の豊かさの大事な部分です。

ライフスタイルの変化に合わせて、収納もより快適で自分らしい暮らしになるようアレンジしてみませんか。今回はセミオーダーシステム家具『ルフォンキューブ』のご紹介です。食器棚、テレビボード、デスク、本棚、隙間の有効利用など、セミオーダーならではの利点を活かし、「もう少しこうだったら」の希望を叶えてください。

LEFOND
CUBE
ORIGINAL
SEMI-ORDER FURNITURE

Semi-Order Furniture

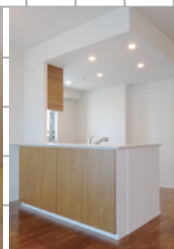
"Quality semi-order furniture at a reasonable price."



■カップボード



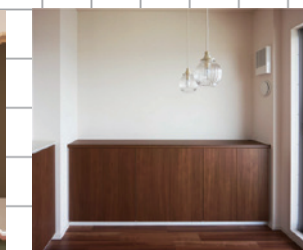
■カウンター下収納



■収納&テーブル



■テレビボード



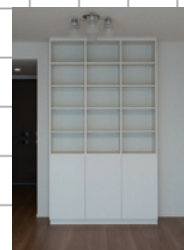
■ダイニングボード



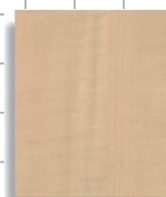
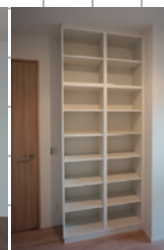
■デスク



■デスク&シェルフ



■シェルフ



■扉（縦木目）
ライトブラウン



■扉（縦木目）
ミディアムブラウン



■扉（縦木目）
ダークブラウン



■扉（縦木目）
オフホワイト



■扉（鏡面・マット）
ホワイト



■扉
アルミフレームガラス

『インテリアオプション』『リフォーム工事』その他住まいに関してのご相談、カタログのご請求は右記の電話番号までご連絡ください。リフォーム工事や造作家具などのご依頼の場合は、現状を調査後に正式なお見積り金額をご案内させていただきます。

『インテリアオプション・リフォームのお問い合わせ先』

mail : interior@sankeibldg.co.jp

TEL : 03-5577-3250

(株)サンケイビルテクノ [受付時間] 月～金9:30～18:00 (土・日・祝休日)

暮らしやすく心地よいお部屋づくりをお手伝いします。

はじめまして。サンケイビルテクノ 小園由美子です。
マンションのご購入者の方やすでに入居されているご入居者の方とインテリアの打ち合わせをしていると、収納が足りなくてとか荷物が多くて片付かない…といったお悩みを聞くことが多くあります。皆さんの理想はどんなお部屋ですか？

家族が集まってくつろげる。ゆっくり趣味のことができる。友人を招いて楽しく過ごす。・・・人によって様々ですがご自身の理想を実現するために片付いたお部屋というのが必要ではないでしょうか。

皆さんはお部屋の片付けは得意ですか？

今回はお部屋が片付けやすくなるポイントを少しだけご紹介します。片付けられない理由はいくつか考えられますが、一番の理由は「定位置が決まっていない」こと。ものが少しくらい多くても、そのものの置き場所が決まっていれば使った後に元の定位置に戻すことができれば片付けやすくなります。この定位置を決めることが最も重要だと思っています。

ものの定位置を決めるときに注意したいことが3つ。

①同じ種類のものの持っている量を把握する。

クローゼットの中身をすべて出してみたら、同じような洋服を何枚も持っているということも…。

着ないものや使わないものは処分したり譲ったりすれば収納できるスペースが増やせます。

②よく使うものは取りやすく戻しやすい位置にする。

キッチンで毎日のように使うお皿やお茶碗は食器棚の一番使いやすい位置に、ストック品などの日常的に使わないものは棚の奥や、手の届きにくい吊戸棚の上の段へ。使用頻度が最優先です。

③使う場所と収納場所を近くに作る。

例えば洗濯物を干すピンチハンガー、洗濯機の近くに収納するのが使いやすい方もいれば、使い方によってはバルコニーなど干す場所の近くに置いてある方が使いやすいこともあります。

人によって持っているものの量や使い方は違いますので、ご自分に合った定位置を見つけることが片付いたお部屋への第一歩です。



まあ♡
ためしてみるわ！



株式会社サンケイビルテクノ
建設・リニューアル事業本部 東京営業部
小園由美子（こぞのゆみこ）

◆整理収納アドバイザー・ライフオーガナイザー®
骨格スタイルアドバイザー®

収納やインテリアに関するセミナーを実施予定です。
詳細が決まりましたらお知らせいたします。

暮らし
advice

税金のノウハウ暮らしに役立つ情報！

両親や祖父母から住宅資金を助けてもらった、それ贈与税かかる？

住宅購入、それは一世一代の買い物ですね。大きな資金も必要だからこそ、両親や祖父母から、住宅資金を援助してくれるというありがたいお話もあるかと思いますが、やはりその場合に気になるのが贈与税の問題ではないでしょうか。

今回は、このように直系尊属（自分の父母、祖父母など）から住宅等（増改築も含む）資金の贈与を受けた場合に、一定の金額まで贈与税がかからないという制度についてご紹介します。

具体的には、平成27年1月1日から令和3年12月31日までの間に、自分の父母や祖父母など直系尊属からの贈与があった場合、かつある一定の要件を満たした場合には、贈与税が非課税となります。非課税限度額は、次の(イ)又は(ロ)の表のとおり、新築等をする住宅用の家屋の種類ごとに、受贈者が最初に非課税の特例の適用を受けようとする住宅用の家屋の新築等に係る契約の締結日に応じた金額となります。新築で省エネ等住宅の方がより非課税枠が大きいですね。

住宅用家屋の新築等に係る契約の締結日	省エネ等住宅	左記以外の住宅	住宅用家屋の新築等に係る契約の締結日	省エネ等住宅	左記以外の住宅
～平成27年12月31日	1,500万円	1,000万円	平成31年4月1日～令和2年3月31日	3,000万円	2,500万円
平成28年1月1日～令和2年3月31日	1,200万円	700万円	令和2年4月1日～令和3年3月31日	1,500万円	1,000万円
令和2年4月1日～令和3年3月31日	1,000万円	500万円	令和3年4月1日～令和3年12月31日	1,200万円	700万円
令和3年4月1日～令和3年12月31日	800万円	300万円			

(イ) 右記(ロ)以外の場合

(ロ) 住宅用の家屋の新築等に係る対価等の額に含まれる消費税等の税率が10%である場合

なお、これは義父母など直系以外からの贈与は対象でないこと、住宅ローン返済の金銭贈与ではないこと、贈与を受けた年の所得が2000万円以下であること、などの要件を満たすことが必要となります。詳しくは下記メールアドレスまでお問合せいただくか、または国税庁Webサイトや税理士などの専門家にご確認ください。

【国税庁Webサイト】 <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/sozoku/4508.htm>



JBA税理士法人 理事長 松田賢一郎（税理士、公認会計士）
東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル6F

✉ information@jbagroup.co.jp

🌐 www.jbagroup.co.jp

『ウィーン郵便貯金局』天才オットー・ワグナーの傑作

ある日神様が言いました。「世界中の建築から、どれでも一軒あげよう！」あなたなら何を選びますか？ニューヨークのクライスラービル？ロンドンのテートモダン美術館？銀座のWAKO？心は千々に乱れますが、たぶん私が選ぶのは、ウィーンにあるウィーン郵便貯金局です。



ウィーンはヨーロッパ文化が凝縮したような街、新旧の建築が混在する中にウィーン貯金局があります。建築の正面は古典的な三段構成、屋上には女神のような女性像が対照的に配置されています。古典的と思いきや、よく見ると外観が不思議な素材感、実は大理石の板を無数の鋸で外壁にとめています。この新旧ミックスの扱いに見とれながら入口を入るとその奥にこの建築のクライマックス空間、美しい光に包まれたホールが広がります。

ガラスの床に感動しながら視線は自然と上へ、中央部分のガラス天井はカーブを描き、光を美しく空間全体に拡散しています。天井を支える列柱や壁面は白を基調として、天井全体から入った光をさらに反射、外観からは想像できないほど美しく明るい光の空間に息をのみます。これが1906年につくられたとは思えないほど、モダンな空間です。

設計したのはオットー・ワグナー、「近代建築の父」と称される建築家です。ウィーンの街は地下鉄の駅や欄干、集

合住宅と彼の作品に溢れていますが、郵便貯金局は中でもワグナーの代表作です。時代はアールヌーボーやアールデコなど、様式最後の時期だったなか。ワグナーはそういった当時の最新様式と古典の雰囲気を残しながら、次々やってくるモダニズム空間を先取りします。ワグナーの作品はウィーンに集中していますが、どれも異なる時代性と手法をとり、更に建築の空間性、装飾性、色彩を自由にあやつっています。古典のような、モダニズムのような、その両方を見事に調和させ、過渡期にしかできない傑作をたたきだします。

新しい建築ができるたびに、これがほしいかも！と建築の生涯ベスト10は激動ですが、いつの間にかトップに再浮上する郵便貯金局のポテンシャルにはいつも感動するのです。



筆者 / 学校法人 環境造形学園 専門学校
ICSカレッジオブアーツ講師 細川万紀子 URL: <http://www.ics.ac.jp>

知っておきたいワインの基礎知識

日本人醸造家の躍進



かつて海外のワイナリーにおいて、オーナーやスタッフの名前に日本人を見かけることは珍しくありませんでしたが、一昔前からは自ら醸造を行う日本人ワインメーカーの活躍を目にする機会が増えました。そして更に近年では、単なる生産に留まらず、そのワインが極めて高い世界的評価を得るまでになりました。今回は代表的な三名をご紹介します。

まずはブルゴーニュの仲田晃司氏。氏の手掛ける『ルー・デュモン』は非常に繊細で優雅。世界的に人気が高まり、テレビでも取り上げられ、人気コミック「神の雫」にも登場しました。

ニュージーランドでは楠田浩之氏の『クスダ・ワインズ』が、深みある豊かな味わいでイギリスでも賞賛。今や超レアワインとして、輸出が優先されているはずの日本ですら手に入らない状況が続いています。



最後はカリフォルニアのアキコ・フリーマン女史による『フリーマン』。こちらは華やかかつ上品で、米国メディアの年間TOP100アワードに度々選出。ホワイトハウスでも採用され、2015年に開かれた安倍晋三首相を招いての晩餐会でも提供されました。女流としては最大級の評価を得ています。

奇しくも、お三方とも手掛ける主なワインは『ピノ・ノワール』。日本人向きの葡萄品種なのかもしれませんね。

神田ワインショップ柳屋
〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町1丁目3-9
店頭営業時間/11:00~21:00
土日祝休み
サマータイム(8月中)
11:00~20:00

読んでるだけで、ワインについて詳しくなれる月間ワイン通販情報誌『YANAGIYAホット・リスト』の無料送付が可能です。
お申し込みは、下記お電話、メールからお気軽にどうぞ。

☎ 03-3257-0596 mail: taka@yanagiya.com

柳屋オンラインワインショップ <http://www.rakuten.co.jp/yanagiyawine/>



株式会社 **サンケイビルテクノ**

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-3-11 NBF御茶ノ水ビル2F

TEL: 03-5577-3001(代表) URL: <https://www.sankeibt.com>